

## ケープハイラックスの繁殖

宮本知佳

よこはま動物園では2015年4月、新たに「アフリカのサバンナ」ゾーンを開設するにあたり、2014年8月よりケープハイラックス (*Procavia capensis*) の飼育を開始した。個体は、南アフリカ共和国より搬入したが、生年月日や血縁関係等の詳しい個体情報については不明である。展示施設は、2群に分けて飼育展示する構造になっており、その内の1群が2016年から2018年にかけて3年連続で繁殖している。繁殖群は、No.1 (♂)・No.4 (♀)・No.5 (♀) の3頭で構成され、飼育開始から約1年後の2015年10月中旬から11月末にかけて交尾行動が認められた。交尾栓が確認された約200日後の2016年6月にNo.5が2頭、続いてNo.4が3頭の子を出産した。その後、10月末に再び発情が見られ、2017年に7頭、2018年には6頭の出産に至った。3回の繁殖を通じて、発情は毎年11月前後に認められ、出産は6月中旬から7月上旬に認められた。推定妊娠期間(平均±標準偏差)は $224 \pm 17.6$ 日であった。

子は順調に成育したが、雄の子は生後1年後に発情期にある雄親の攻撃対象となり、群れ構成を変える必要があった。隔離や他園への搬出などを経て、現在は成獣4頭、亜成獣3頭、幼獣6頭の計13頭の群となっている。今後も子の成長に伴い雄間の闘争が予想されるため、個体数調節や予備部屋の確保が課題となっている。